

至学館大学

SHIGAKKAN UNIVERSITY

至学館大学短期大学部

SHIGAKKAN UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE

「挑戦」と「成長」

2019 「出前授業」のご案内



至学館大学では、本学の教員が高等学校へ出向いて授業を行う「出前授業」（無料）を行っています。本学で実際に行われている授業を多くの生徒の皆様にご体験していただきたいと思っています。そこで本学の専門分野の中で、生徒の皆さんに興味を持っていただけたような内容の授業を用意しました。生徒の皆様の新しい発見につながる良い機会にもなり、進路指導の機会や総合的な学習の時間などにご活用いただければ幸いです。

ご関心のある授業がありましたら、お気軽に入試・広報課までご連絡ください。

申し込み方法

「出前授業」申込書に必要事項をご記入の上、FAXにて本学入試・広報課（下記連絡先）にお申込みください。申込書を確認次第、本学からご担当の方にご連絡いたします。
お申込みは、原則として出前授業の希望日1ヶ月前までとさせていただきます。

ご希望の講義をお選びください



申込書に必要事項をご記入ください

追加のご要望などありましたらその概要をご記入ください



申込書を FAX してください

希望日の1ヶ月前までに送信してください



**講師のスケジュール調整後、
連絡させていただきます**



講義を実施

より良い講義をご提案するため、後日で感想などをお聞かせください。

出前授業に関わる費用

- お申込者の出前授業に関わる費用負担は原則としてありません。
- 講義に用いるプロジェクター、スクリーン、DVD プレーヤーなどの機材のご用意をお願いする場合があります。

その他

ご希望された授業科目の出前授業につきまして、日程等ご希望に添えない場合がございます。その節はご容赦ください。

Course No.	講義科目（テーマ）	講義内容	教員名
1	教職（保健体育科教師）を目指す皆さんへ	教員（主に保健体育科教員）の仕事やなり方等について解説します。	教授 荒井 忠 (あらいただし)
2	足の不思議	人は2足歩行をしています。その足には素晴らしい構造や機能が備わっています。足の解剖学的構造や生理学的機能について説明します。	教授 飯本 雄二 (いいもと ゆうじ)
3	障害者のスポーツ	障害者にとってスポーツのはたす役割について学びます。（「楽しみ」「競技」他）	教授 大槻 洋也 (おおつき ひろや)
4	みんなで運動、 みんなで学ぼう	障害のある子とない子を一緒に教育することを「インクルーシブ教育」と呼びます。本講義では、これを体育の授業に当てはめ、みんなで楽しく運動することの効果・意味を実例に基づいて一緒に考えてみましょう。	教授 岡川 暁 (おかがわ さとる)
5	エコーで観る筋肉の動き ～運動器超音波の世界～	お腹の中の赤ちゃんを見るために使われるエコー。最近はとてもコンパクトになり筋肉の動きもよくわかります。講義では実際の機器を使って体内の筋肉や腱、骨の動きをお見せします。	教授 後藤 英之 (ごとう ひでゆき)
6	ストレス対処	ストレスのしくみとストレス対処の理論を学習します。	教授 笹竹 英穂 (ささたけ ひでほ)
7	運動は必要なの？	人は、生きがいや人生の質をよくするために運動する唯一の生き物です。私たちは、運動しなくても、生きていくのに困りません。では、本当に運動は必要なのでしょうか。運動すると体に起こる変化について解説し、運動の必要性について、生徒の皆さんと考えてみたいと思います。	教授 十枝内 厚次 (としない こうじ)
8	レジスタンストレーニング	自重負荷のレジスタンストレーニングの正しい方法について解説します。	教授 仲 立貴 (なか たつき)
9	香りと健康	香りにはリフレッシュ効果など様々な効果があり、人類はそれを日常生活に利用してきました。香りの歴史や有する効果などについて解説します。	准教授 佐藤 桂 (さとう けい)
10	体力がある人ない人見分け方	体力を構成する要素には、様々なものがあります。体力のある・なしは、どのような評価をもとに決められているのかを体力の仕組みとともに解説します。	准教授 高橋 淳一郎 (たかはし じゅんいちろう)
11	アナログ指向のデジタル術 (レポート作成編)	文章の要約やレポートの上手な執筆方法について学びます。主に PC とワープロを使用しますが、紙や付箋なども活用しながら自然に文章の内容を把握して要約文を作成及び説得力のあるレポートが書ける方法を学びます。	准教授 前野 博 (まえの ひろし)
12	体脂肪率とは何か	体脂肪率の測定法には様々な種類があります。それぞれの測定法の特徴と値の解釈の仕方について解説します。	准教授 班目 春彦 (まだらめ はるひこ)
13	アスリートのための ウォーミング・アップと クーリング・ダウン	パフォーマンスを高め、ケガの予防に役立つパッシブ・ウォーミング・アップ、疲労をしっかりと取り除くクーリング・ダウンやセルフケアについて解説します。	准教授 光岡 かおり (みつおか かおり)
14	誰でもできる 「科学的トレーニング」	トレーニングの内容は、対象（アスリート？高齢者？）や目的（パフォーマンス向上？ダイエット？）、競技（サッカー？マラソン？）によって大きく異なります。日々のトレーニングを決める科学的な根拠について解説します。	准教授 宮澤 太機 (みやざわ たいき)
15	オリンピックの歴史	近代夏季オリンピックの歴史を知ることから、これからのオリンピック大会のあり方を考えていきます。	助教 越智 久美子 (おちくみこ)
16	創作ダンスの指導	即興表現の面白さ、仲間とのかかわりの大切さなどについて、創作ダンスの作品創作過程に従って解説します。	助教 相馬 秀美 (そうま ひでみ)
17	英語スピーキングの トレーニング	英語スピーキングはスポーツや音楽と似ています。反復練習をすることでうまくいきます。ただ、その練習の内容によって実力の伸び方は異なってきます。この出前授業では、英語をどのように正しく聞き、発音し、書き取るかを体験することで、今後英語を学んでいく上でのセンスを磨きます。	助教 長谷川 千春 (はせがわ ちはる)
18	多くの人にスポーツに関わってもらうために（スポーツ政策）	スポーツへの関わり方には、主に「する」「みる」「ささえる」の三つがあります。多くの人がスポーツに親しむ機会を提供するために、スポーツ行政はどのような政策を行っているかを学びます。	助教 舟木 泰世 (ふなき やすよ)

Course No.	講義科目（テーマ）	講義内容	教員名
1	病気と栄養 食事療法ってすごい	毎日食べる食事だからこそ、体質や病状が左右されます。病気との関連から栄養・食事療法の魅力を紹介します。	教授 井上 啓子 (いのうえ けいこ)
2	解説 「日本人の食事摂取基準2015年版」	「日本人の食事摂取基準」とは、食事量の過不足を評価する“ものさし（基準）”で、5年ごとに厚生労働省が改訂しています。人々の体格や活動スタイルはさまざまなのですが、どうやって基準を決めているのでしょうか。みなさんで考えながら解説をします。	教授 今枝 奈保美 (いまえだ なほみ)
3	食品に含まれる色と 体内での働きについて	食品にはいろいろな色素が含まれています。食品の色はただおいしそうに見えるだけでなく、私たちの体の中で肌の老化を防ぎ、若返りのためにも役立っています。食品の色の秘密について学びます。	教授 江藤 義春 (えとう よしはる)
4	食べ物で薬が効かなくなる？	普段なにげなく食べている物の中には、薬が効かなくなるものがあります。食品と薬の相互作用について解説します。	教授 北川 章 (きたがわ あきら)
5	発酵食品と機能性	ユネスコ無形文化遺産に登録された和食は栄養バランスに優れた健康的な食事です。和食を支える味噌、醤油などの伝統的発酵食品の製造に関わる微生物やその機能性について解説をします。	教授 北本 則行 (きたもと のりゆき)
6	食品表示ラベルは情報満載 ～知ってなるほど・賢い消費者に～	食の安全・安心が叫ばれる中、食品表示のしくみや知識を深めることは、豊かな食生活と健康の維持に重要です。この授業では、食品表示を読み解く力と、賢い食品選びについて学びます。	教授 小塚 諭 (こづか さとし)
7	睡眠	睡眠リズムはどのように制御されているのでしょうか？脳はもちろん全身の臓器、血液までも睡眠リズムを持っています。睡眠リズムは、ブルーライトや食事によってリセットされます。健康的な心と体を維持するために睡眠のメカニズムを理解しましょう。	教授 三浦 裕 (みうら ゆたか)
8	運動栄養学入門	トレーニングの効果を高める食べ方や栄養の効果を引き出すトレーニングについて考えてみよう。	教授 村上 太郎 (むらかみ たろう)
9	食材の選び方 (特に野菜や果物を中心に)	調理を行う際には、各種食材を購入し適した調理を行います。食材を上手に選択するには、ポイントがあります。各種食材を示し上手な選び方を学びます。	准教授 伊藤 正江 (いとう まさえ)
10	糖質の科学	小学校で学んだデンプン。「ヨウ素液が青くなる」以外にいろいろな特徴があります。実験を通してその性質を紹介します。	准教授 北越 香織 (きたこし かおり)
11	「女性の美しさ」と 「スポーツ選手」を支える 管理栄養士の仕事	近年、プロスポーツチームやスポーツクラブ、エステサロンやドラッグストアなどのスポーツ・美容・健康分野において、栄養士を採用するケースが増えています。『女性の美しさ』と『スポーツ選手』を支える管理栄養士の仕事についてお話しします。	准教授 杉島 有希 (すぎしま ゆうき)
12	もち小麦ってなあ～に？ ～新商品の開発についての取り組み～	お米にうるち米ともち米があるように、小麦にも「もち小麦」があります。新商品のアイデア、考えてみませんか？	准教授 藤田 静子 (ふじた せいこ)
13	体の再生能力と栄養	トカゲの尻尾が再生するように、人の体も自分の故障（病気・傷害）を直そうとする仕組みをもともと備えています。この人体の再生力について解説し、その力をもとに発展する新しい医療、「再生医療」について解説します。	准教授 町出 充 (まちで みつる)
14	食育を考えよう	食育基本法・食育推進計画により各地で食育が推進されていますが、なぜ食育を行う必要があるのでしょうか。この授業では、その理由を詳しく解説した後、子どもへの食育のアイデアを皆さんと一緒に考えます。	助教 木村 具子 (きむら ともこ)

Course No.	講義科目（テーマ）	講義内容	教員名
1	実生活に生かす運動の計画	体を動かす楽しさや心地よさを味わいながら、自己のねらいに応じて、卒業後も継続可能な運動の計画を立てて取り組む方法について学びます。	教授 加藤 雅之 (かとう まさゆき)
2	楽しみ Math	数学パズルなどを通して数学の面白さを味わったり、算数・数学が日常生活にどのように生かされているのかを学び、算数・数学との関わりを楽しみます。	教授 鈴木 正則 (すずき まさのり)
3	学級やチームスポーツのコミュニケーション向上を図る自然体験活動	初めて出会ったメンバーの緊張をほぐし、打ち解けるために、自然体験活動ではグループで課題解決を図る活動を行います。学校におけるクラス内のコミュニケーション向上やスポーツにおけるチームビルディングのための事例からその効果を学びます。	教授 時安 和行 (ときやす かずゆき)
4	教員をめざすなら	これからの学校教育に必要な教員の資質とは何かについて、現在の学校の課題を踏まえて解説します。	教授 廣瀬 帆曜 (ひろせ はんよう)
5	東日本大震災にみる支援と防災	地震・津波後の被災地支援の状況と防災（主に津波）教育について学びます。	教授 吉本 健一 (よしもと けんいち)
6	ようこそ、絵本の世界へ	子どもから大人まで楽しめる絵本の魅力を紹介します。	准教授 加古 有子 (かこ ゆうこ)
7	生まれて初めての「せんせい」	生まれて初めて「せんせい」と呼び掛けたのは、幼稚園や保育園の先生ではないでしょうか？子どもたちが大好きな「せんせい」のお仕事を、手遊びや紙芝居を使いながら紹介します。	准教授 金森 由華 (かなもり ゆか)
8	こどもにとって「学校」とは何か	西欧及び我が国の歴史における子ども観や学校、教育に対する考え方の変遷等を交えて解説します。	准教授 平田 幸男 (ひらた ゆきお)
9	こどもと楽しむものづくり	廃材や身近な素材を生かして、子どもと共に楽しめるものづくりについて考えます。から紹介します。	准教授 西村 志磨 (にしむら しま)
10	使える英語力	使える英語力を身につけるためのポイントについて英語学の観点から学びます。	准教授 本多 明子 (ほんだ あきこ)
11	心理学の知見に基づいた勉強のやる気の出し方と効果的な勉強法	心理学の知見に基づき、勉強への動機づけを高めるメカニズムと、学習メカニズムについて解説します。とくに、高校生が自分自身の体験に関連づけたり、応用できるように具体例を提示し、わかりやすく解説します。	准教授 丸山 真名美 (まるやま まなみ)
12	はじめての子ども家庭福祉	今、日本において、子ども虐待や子どもの貧困など、子どもの命や生活にかかわる問題があり、解決や改善が急がれています。子どもの命や生活を守るために必要な基本的な知識について学びます。	准教授 吉田 幸恵 (よしだ ゆきえ)
13	ひとの育ちは遺伝の影響？環境の影響？	私たちは一人ひとり違います。でもこの違いはどこから来るものなのでしょう。生まれながらに決まっているのでしょうか。それとも育ってきた環境によって違いが生まれるのでしょうか。心理学の知見をもとに、ひとの「個性」とは何かを考えます。	助教 池田 琴恵 (いけだ ことえ)
14	ジュニア期のスポーツ	幼児から中学生までの成長期に適したスポーツ活動のあり方について学びます。	助教 内田 智子 (うちだ ともこ)
15	表現豊かな歌唱活動のために	魅力的な歌い方とはどんなものか、発声法と楽曲分析の観点から学びます。	助教 松川 亜矢 (まつかわ あや)

短期大学部 体育学科

Course No.	講義科目（テーマ）	講義内容	教員名
1	現場に生かす スポーツ心理学実践テクニック	チャンピオンシップを目指すスポーツを行っている場合、パフォーマンスを上げるにはどうしたらいいか、試合で実力を発揮するにはどうしたらよいか、を具体的に解説します。	教授 氏原 隆 (うじはら たかし)
2	「あがり」とは？ - 緊張を味方にしよう -	「あがり」とは何か、そのメカニズムを解説し、克服法を学びます。	教授 氏原 隆 (うじはら たかし)
3	スポーツ傷害について	“スポーツにケガはつきもの”という言葉があります。しかし、スポーツ傷害を知ることによりケガは予防でき、もしケガをした場合でも早期に復帰することができます。スポーツ傷害の種類、予防、治療について説明します。	教授 近藤 精司 (こんどう せいじ)
4	プロサッカーチームでの メディカルサポート	プロサッカーチームでは、裏方とよばれる様々な人達が選手を支えています。その中で選手の体のケアとサポートにあたっているアスレティックトレーナーの仕事を紹介しします。	教授 近藤 精司 (こんどう せいじ)
5	テーピング実習（基礎）	基礎知識、注意点、テープの扱い方、テープの種類及びツール、基礎テクニックを学びます。	教授 佐藤 丈能 (さとう たけよし)
6	テーピング実習（応用）	種目特性に応じた外傷・障害（シンスプリント、ジャンパーズニー、ランナーズニー、アキレス腱炎等）に対してのテーピングテクニックを学びます。	教授 佐藤 丈能 (さとう たけよし)
7	文化としてのスポーツ	「なぜスポーツは文化に含まれるのか」、その理由について、スポーツを特徴づけている運動フォームという点から考えていきます。	准教授 河野 清司 (こうの きよし)
8	姿勢は筋肉によって作られる ～筋肉の働きをおぼえて、 簡単エクササイズしてみよう～	猫背、反り腰、X脚、O脚どれか当てはまるものはありませんか？これらの姿勢は、骨よりも筋肉の付き方や緊張の強弱によって作られています。筋肉の付き方や働きを理解し、簡単な運動で調整することを学びます。	准教授 西沢 富江 (にしざわ とみえ)
9	武道と国際交流	日本の伝統文化である武道が国際交流に果たす役割について自らの経験や体験を交えて講義を行います。	准教授 松本 秀彦 (まつもと ひでひこ)
10	運動学 ースポーツにおける運動学習ー	「運動が上達する」とはどういうことかについて考えます。人間が運動を学習していく過程についてスポーツ運動学的視点から学びます。	准教授 村山 大輔 (むらやま だいすけ)
11	アスリートが競技をする うえで必要なこととは？	ひとりのアスリートを題材に解説し、アスリートが競技をするうえで必要なこととは何か？ということと一緒に考えます。	助教 今井 美希 (いまい みき)
12	科学的認識を育てる保健学習	身近な健康問題について、簡単な実験などを通して俯瞰し、認識レベルの「わかる」から行動レベルの「できる」への変容をねらいます。	助教 上島 久明 (うへじま ひさあき)
13	自然体験活動の可能性	現代の子供たちには、自然体験活動が必要とされています。昔と現代の子供たちの成育環境の比較をし、自然体験活動が現代を生きる子供たちに及ぼす影響について学びます。	助教 福富 優 (ふくとみ まさる)
14	パフォーマンス向上 のためのきっかけ作り	競技者にとってパフォーマンスを向上させたいという気持ちは、どんな競技でも共通である。パフォーマンス向上のきっかけを得るために、様々な最先端の測定機器を使った事例を紹介する。	助教 水谷 未来 (みずたに みらい)



挿入方向

至学館大学『出前授業』申込書



挿入方向

申込日 年 月 日

貴高等学校名				
ご担当者氏名			ご担当部署名 (役職名)	
連絡先	TEL ()		—	
	FAX ()		—	
	E-Mail		@	
実施対象				
受講予定者数と 受講者の学年	およそ () 名 () 学年			
実施形態	☐ 学校行事 ☐ 授業の一環 ☐ 研修 ☐ その他 ()			
第1希望	学部・学科名	No.	講義科目名	教員名
	希望日 年 月 日 ()	実施時間	午前 午後	午前 午後
第2希望	学部・学科名	No.	講義科目名	教員名
	希望日 年 月 日 ()	実施時間	午前 午後	午前 午後
第3希望	学部・学科名	No.	講義科目名	教員名
	希望日 年 月 日 ()	実施時間	午前 午後	午前 午後
資料配付	☐ 可	大学案内 (部) 募集要項 (部)	入試ガイド (部) その他 (: 部)	☐ 不可
ご要望・ご質問等ありましたらご記入ください。				

- 希望される日時につきましては、できる限り第1希望から第3希望までご記入ください。
- ご希望はできる限りお応えいたしておりますが、教員のスケジュール等の都合でお引き受けできない場合はご容赦ください。
- 派遣教員に対する謝礼・交通費等は必要ありません。

お申し込み・お問い合わせ先

至学館大学 入試・広報課

〒474-8651 愛知県大府市横根町名高山55
TEL: 0562-46-8861 E-Mail: info-inv@sgk.ac.jp

FAX: 0562-44-0310



至学館大学

至学館大学短期大学部

入試・広報課

〒474-8651 愛知県大府市横根町名高山 55

TEL : 0562-46-8861 (直)

E-mail : info-inv@sgk.ac.jp

<http://navi.sgk-u.net/>